

# 地域医療連携室だより

## 循環器センター特集



部長  
木下 法之

日頃は医療連携におきまして、貴施設および先生方には大変お世話になりありがとうございます。

現在、日本が直面している超・高齢化社会において心臓病・血管病が増加しているのは明らかですが、康生会武田病院循環器センターは、京都の中核病院・地域医療支援病院として、先生方に信頼される質の高い治療を提供する治療チームとしての体制を整えております。今回は、康生会武田病院循環器センターが果たすべき役割・目指す方向をご紹介します。



### 担当医の紹介

<左から>

太田 啓祐	医長
宮井 伸幸	副部長
澤西 高佳	部長
木下 法之	部長
磯田 圭	医長
中村 玲雄	副部長
山崎 敬史	専攻医

### 理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

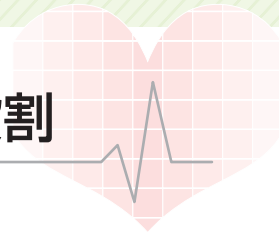
### 基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

### 環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R  
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

# 変貌する循環器センターの役割



## 1. 循環器内科の役割

先生方の循環器内科の果たすべき役割はどのように思われているのでしょうか？急性心筋梗塞に代表される虚血性心疾患の治療をイメージされる先生が多いのではないのでしょうか。もちろん生命の源である「心臓」を中心に診療する科であります。

確かに循環器内科医は、緊急を要する疾患の治療に立ち向かっていく役割を担っています。その一方、循環器内科医は命にかかわる循環器疾患の予防をする役割を担っております。特に救急・入院治療に力を入れています。

また最近では、心臓だけでなくその心臓から送り出される血液の力ともいうべき「血圧」、更に心臓と全身の臓器や組織を繋いでいる「血管」に対する診療を担当ように循環器内科はなっております。すなわち、循環器センターの果たすべき役割としては、下記のような多岐にわたる疾患が挙げられます。

- ① 虚血性心疾患（急性冠症候群、狭心症など）
- ② うっ血性心不全（急性心不全・慢性心不全急性増悪）
- ③ 心臓弁膜症
- ④ 末梢動脈硬化性疾患（Peripheral Artery Disease : PAD）  
重症虚血肢（Critical Limb Ischemia : CLI）
- ⑤ 肺血栓塞栓症（急性・慢性）、深部静脈血栓症
- ⑥ 大動脈瘤・大動脈解離
- ⑦ 下肢静脈瘤
- ⑧ 不整脈（当院 不整脈治療センターと協力し治療に当たります）

当然、上記疾患は当科のみでは対応できないことも多く、関連する診療科（心臓血管外科、不整脈治療センター、皮膚科・形成外科、脳神経外科、腎臓内科、透析科など）と連携してインターベンション治療を積極的に行っております。

## 2. 急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）について

急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）は突然に発症し、急速に重篤な病態に進行することが多く、迅速な診断および適切な治療が必要になります。当院では循環器内科医師が 24 時間体制で院内に常駐しており、救急時の診断や治療を行っています。

急性心筋梗塞の患者さんは突然死の可能性が高いばかりでなく、発症早期に再灌流療法を行わないと心筋壊死が進行するといわれ、一旦心筋壊死に陥ってしまうと回復は極めて困難です。そのため急性心筋梗塞の患者さんにおいては、1分1秒でも早い再灌流療法が必要になります。急性心筋梗塞の患者さんが来院されてから緊急心臓カテーテル検査のための動脈穿刺までの時間（door to needle time）を60分以内、来院からバルーンによる再灌流までの時間（door to balloon time）を90分以内であるべきとガイドラインで勧告されています。全例（休日・夜間を含めて）が目標時間内に治療を開始出来るよう、さらに研鑽を積み重ねて迅速な診断と治療を循環器内科医師のみならず臨床工学技士、放射線技師、看護師、薬剤師とも連携して万全の体制を整えております。

当循環器センターの、医師7名のうち日本心血管インターベンション治療学会（Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics : CVIT）の指導医1名、専門医1名、認定医3名を有しており、日々研鑽をかさねております。

### 3. エキシマレーザー治療について

当院における経皮的冠動脈形成術（PCI）の件数としては、毎年約400例を施行しています。

院内に3つのカテーテル検査室を有し、バルーン拡張術、ステント留置術、血栓吸引、ロータブレーター（高速回転ドリル）、エキシマレーザーによる治療が可能です。

エキシマレーザー治療は、2001年に高度先進医療として認可され、一部の施設でのみ使用可能となっていました。2012年より保険償還されましたが特殊な装置の導入が必要であり限定した施設でしか使えません。当院では高度先進医療の時期より導入しており多くの経験があります（京都府下でのエキシマレーザー治療可能施設は当院のみです）。

冠動脈に挿入されたカテーテルの先端から照射されるエキシマレーザーによって、動脈硬化の組織（プラーク）組織を蒸散させ、治療するものです（図2）。このエキシマレーザー冠動脈形成術は、欧米ではすでに数万例の症例に適用され、通常の風船によるバルーン治療が困難な複雑病変や急性冠症候群に対する血栓に対して有効性が報告されています。

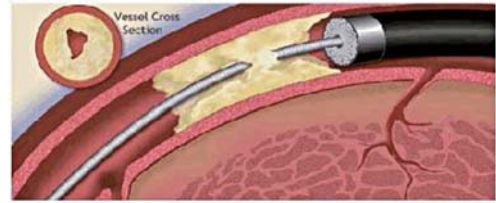


図 2-1 エキシマレーザーを病変部に導入

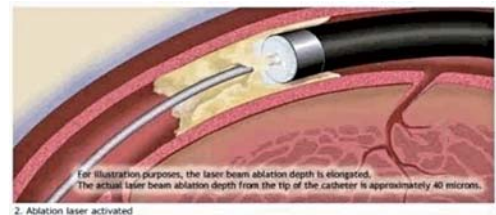


図 2-2 エキシマレーザーを照射

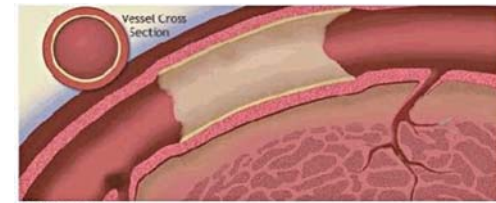


図 2-3 エキシマレーザー照射後  
(画像提供：DVX社)

### 末梢動脈硬化性疾患治療の最新の医療機器 「クロッサーシステム（Crosser System）」

当院では、閉塞して硬い石のようになってしまった血管を貫通させる「クロッサーシステム」を京都府下でいち早く導入しました。

これは毎秒2万回の振動を病変部に与えることにより、完全閉塞した固い血管にガイドワイヤーを通過させる医療機器です。従来の治療法が困難な閉塞性動脈硬化症の患者さんの場合、この「クロッサーシステム」を用いることで治療の選択を拡げ、安全かつ有効性の高い医療を提供できます。

クロッサーシステムは下記のような患者さんに有効です。

- 慢性完全閉塞病変の方
- ガイドワイヤーが通らない方
- 高度石灰化の進んでいる方
- 透析を受けておられる方

クロッサーシステムを使用することで、従来治療が困難だった病変に対しての治療が可能になるだけでなく、治療時間の短縮にもなり患者さんの負担が軽減されます。

## 外来診療案内

	月	火	水	木	金	土
午前	中村 玲雄 循環器センター副部長★	田巻 俊一 循環器センター顧問★	木下 法之 循環器センター部長★	宮井 伸幸 循環器センター医長★	太田 啓祐 循環器センター医員★	的場 聖明
午前2		澤西 高佳 循環器センター副部長★	磯田 圭 循環器センター医長★	澤西 高佳 循環器センター副部長★	橋本 哲男 循環器センター顧問★ (医仁会副院長)	
午後	中村 玲雄 循環器センター副部長☆ (14時半～15時半 下肢静脈瘤外来)	田巻 俊一 循環器センター顧問☆	木下 法之 循環器センター部長☆	宮井 伸幸 循環器センター医長☆ (14時～15時半 下肢動脈・大動脈瘤外来)	橋本 哲男 循環器センター顧問★ (医仁会副院長)	

### ◆受付時間◆

午前診 8:00～12:30  
午後診 13:00～16:00

### ◆予約外来◆

当院では待ち時間短縮のため、下記の印(★・☆)の科目については予約制を導入しています。  
★…初診・予約のない再診・急患の方も受け付けています。  
☆…予約された方だけの診療となっています。

## ■ 循環器センターが目指す方針

循環器センターが扱う疾患が多岐に及ぶようになり最新の医療機器を揃える努力を病院上げて行っております。また、地域の先生方に信頼される質の高い治療を提供する治療チーム体制として、循環器内科医師の研鑽はもちろんのこと、他科医師や臨床工学技士、放射線技師、看護師、薬剤師等とのチーム医療により、患者さんに質の高い治療提供を今後とも目指していきたいと考えております。

地域医療連携だより

地域医療支援病院 医療法人財団 康生会 武田病院 発行

京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町 841-5 TEL : 075-361-1351 (代表)

### 受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)  
FAX (075) 361-1337 (直通)

※地域医療連携室受付時間外につきましては医事部(医療事務)にて対応させていただきます。

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075)-361-1268 (医事部専用)